

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	みらいえネットワーク				
H30採択グループ番号	07	—	0543	—	0529

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	長期優良住宅の適合証取得やBELS評価書取得を事務局が行い、工務店の負担軽減を行った。 また、完成保証の利用によりグループの信頼性向上に努めた。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/05/25	名称	平成30年度地域型住宅グリーン化事業説明会	●		
	内容	制度概要や昨年度からの変更点、グループの取組内容、留意点などの説明を行い、質疑応答で終了した。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/06/24	名称	現場見学会	●		
	内容	「未来創造住宅2」の完成後に見学会を行い、事業の取組について周知を図った。							
	消費者説明会 2		開催日		名称				
③ 工務店	内容								
	工務店研修会 1	有	開催日	2018/05/25	名称	ライフプラン診断勉強会	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ			

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有					●
	内容	事業に取り組むにあたり、注意点やフローをまとめた資料を作成し、未経験工務店に配布した。 また、事務局担当者が工事の進捗状況を把握し、実績報告に必要な書類・写真の準備漏れがないように都度案内を行った。					
取組み②	サポートの有無 2	有					●
	内容	事務局が認定申請のための適合証取得、BELS評価書の取得を代理で行い、工務店の負担を軽減した。					
取組み③	サポートの有無 3						
	内容						

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	ジャパン建材株式会社 住宅履歴の図書館	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	原則として住宅履歴の図書館を活用し、30年間の定期メンテナンスにより消費者のバックアップを行う。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	5月25日「平成30年度地域型住宅グリーン化事業説明会」の際にZEHの資料を配布し、説明を行った。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	構成員全員の省エネ技術者講習受講を目指し、開催日程を工務店に案内し受講を促した。	
BELS工務店の登録数	2社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	みらいえネットワーク				
H30採択グループ番号	07	—	0543	—	0529

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/19	名称	平成30年度地域型住宅グリーン化事業説明会		
	内容	構成員を集めて、今年度の事業内容、留意点、共通ルールなどのグループの取組内容の説明を行う。事務局のサポート体制についても説明し、未経験工務店に積極的に活用してもらえるような提案を予定している。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/12/15	名称	現場見学会		
	内容	完成現場見学会を実施し「未来創造住宅2」の取組による事業の活用について説明を行う。						
	消費者説明会 2	有	開催日	2020/02/23	名称	現場見学会		
	内容	「未来創造住宅2」の完成後に見学会を開催し、ライフプラン相談や資金計画についても併せて実施を予定している。						
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/08/02	名称	住宅履歴についての研修	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2020/02/13	名称	断熱施工に関する研修	タイプ	座学
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	未経験工務店が申請を行う際には個別に訪問し、留意点等の説明を行い申請書の作成などの細やかなサポートを行う。また、2棟目以降は工務店の担当者が申請書類の作成を行えるようなサポートを行うことで、積極的な事業の取組を促す。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	認定申請のための適合証、BELS評価書の取得は事務局が行い、スムーズに事業に取り組めるようにサポートする。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	ジャパン建材株式会社 住宅履歴の図書館
------------	----------	-----	---------------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	原則としてエスクロータイプの完成保証付きシステムの導入、住宅履歴の図書館の活用による30年間の定期メンテナンスにより消費者のバックアップを行う。また、メンテナンスの結果により改修工事を行う際には、構成員の中から工務店を紹介できる体制をとる。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	今年度実施を予定されている省エネ講習を未受講者に受講してもらい、施工構成員全員の修了を目指す。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	構成員に断熱仕様の提案を行う。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/10/03				
内容	省エネ改修型の取組を希望する工務店を集め、事業内容の説明を行う。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

II. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	みらいネットワーク				
H30採択グループ番号	07	—	0543	—	0529

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	年間を通して寒暖差がある地域・周辺地域で地震が多発している地域であるため、省エネ性と耐震性を重視する。省エネ性については、夏場の日射遮蔽、通風を考慮しつつ、樹脂サッシ等を使用し外皮性能・断熱性能を向上させる。
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	主要構造材(柱、梁、桁、土台)の過半に地域材を使用する。		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無			
造作材	枠材、廻縁等	無			
板材	壁板、床板等	無			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	構成員の間で情報共有を行い、連携して常時必要数を確保できるように資材調達の共同化に取り組む。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	流通事業者間での連携をとり、資材調達の共同化を実施する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	プレカット事業者、製材事業者等からの情報を共有し、必要に応じて事務局から工務店へ情報提供を行う。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	外皮性能UPを重視し、樹脂サッシの採用と機密性の確保がしやすい現場発泡の硬質ウレタンフォームA種3の施工を推奨する。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	原則として「住宅地歴の図書館」を活用し、住宅所有者に定期点検の案内を行う。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	現場チェックシートによる検査を推奨する。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	一式見積ではなく、各工事の明細が分かる見積書の提示を推奨する。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	グループの信頼性の向上を考え、家づくりの始めから終わりまでの一貫したサポート体制を構築する。ライフプラン診断士によるライフプラン相談、提案、完成保証制度のハートシステムの提案等を行い、『安心した家づくり』を目標とする。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	週休2日制の導入に関する取組事例などを勉強会等で紹介し、働き掛けを行う。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	構成員に協力を要請し、施工現場の見学会の実施を検討している。
③ 社会保険への加入	有	内容	未加入者には社会保険加入の要請を行う。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	安全・健康の確保に関する研修会の開催や参加について必要に応じて支援を行う。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	みらいえネットワーク				
H30採択グループ番号	07	—	0543	—	0529

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	畳による癒し、くつろぎの提案を行い畳を推奨する。
② 和瓦の活用	有	内容	台風、地震に備えて防災瓦の使用を推奨する。
③ 襖・障子の活用	有	内容	畳敷きの部屋にこだわらず、目隠し等で使用する事を推奨する。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	室内環境、調湿効果等を考慮し天然素材の塗り壁等を推奨する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	建設地に伝統的なデザインがある場合は、街並みに考慮して取り入れる事を推奨する。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	地域の住まい方の情報を集めSNS等を使用し情報発信する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	街並みの景観を考慮した設計を提案する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
<p>震災復興に寄与する商品の購入を推奨する。 また、熊本エリアは地域型住宅の供給対象地域になっているため、復興に関する協力要請には出来る限り応じるようにする。</p>
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み
<p>構成員の安否確認を迅速に行える体制を整え、被害状況の把握に努める。</p>